

# できる®

シリーズ  
8,000万部  
突破<sup>※1</sup>

売上<sup>※2</sup>  
No.1

※1: 当社調べ ※2: 大手書店チェーン調べ

マイクロソフト

# Microsoft 365

パーソナル

# Personal (24か月)

# 搭載パソコン

清水理史  
& できるシリーズ編集部

特別版

## Microsoft 365 Personal と Office Home & Business の 違いが一目で分かる



3か月の Microsoft 365 Personal 試用期間内に手続きをすると、最大24か月無料に。  
または Office Home & Business 2024 を選択できます。その選択方法を分かりやすく解説!

AIの活用 / Officeアプリの違い / セットアップ解説 / より便利な利用方法

 Microsoft 365

インプレス

# 本書の読み方

## レッスン

見開き2ページを基本に、やりたいことを簡潔に説明

### ●やりたいことが見つけやすいタイトル

「〇〇をするには」や「〇〇ってなに?」など、「やりたいこと」や「知りたいこと」がすぐに見つけられるタイトルが付いています。

### ●機能名やサービス名で引ける

「あの機能を使うにはどうするんだっけ?」そんなときに便利。機能名やサービス名などで調べやすくなっています。

## レッスンタイトル

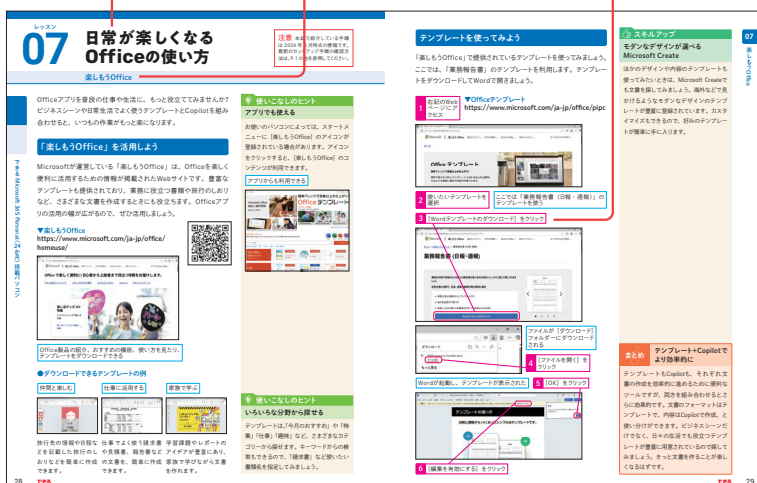
やりたいことや知りたいことが探せるタイトルが付いています。

## サブタイトル

機能名やサービス名などで調べやすくなっています。

## 操作手順

実際のパソコンの画面を撮影して、操作を丁寧に解説しています。



※ここに掲載している紙面はイメージです。実際のレッスンページとは異なります。

## 関連情報

レッスンの操作内容を補足する要素を種類ごとに色分けして掲載しています。

### 💡 使いこなしのヒント

操作を進める上で役に立つヒントを掲載しています。

### 👍 スキルアップ

一歩進んだテクニックを紹介しています。

### 🗨️ 用語解説

レッスンで覚えておきたい用語を解説しています。

### ⚠️ ここに注意

間違えがちな操作について注意点を紹介しています。

### まとめ インストール不要で使える

レッスンで重要なポイントを簡潔にまとめています。操作を終えてから読むことで理解が深まります。

## ●用語の使い方

本文中で使用している用語は、基本的に実際の画面に表示される名称に則っています。

## ●本書に掲載されている情報について

本書に掲載されている情報は、2026年6月現在のものです。セットアップ手順など、本書の発行後に情報が変更されることもあります。

「できる」「できるシリーズ」は、株式会社インプレスの登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーおよびサービス提供元の登録商標または商標です。なお、本文中には™および®マークは明記していません。

Copyright © 2026 Masashi Simizu, and Impress Corporation. All rights reserved.

本書の内容はすべて、著作権法によって保護されています。著者および発行者の許可を得ず、転載、複写、複製等の利用はできません。

# まえがき

新しいパソコンを箱から取り出し、いよいよ使い始めようとしている皆さん。

「『Microsoft 365』と『Office Home & Business』、どちらを選べばいいのだろう?」と悩んでいませんか。

これまでパソコンにプリインストールされてきた Office は、永続ライセンス版の「Office Home & Business」でしたが、これからはクラウドや AI を活用できる「Microsoft 365」を新たに選べるようになっています。

この 2 つの Office には、それぞれ異なる特徴やメリットがあり、利用目的やスタイルに応じて選択することが大切です。この選択は、Office アプリの機能に加え、大容量のクラウドストレージ「OneDrive」や AI アシスタント「Copilot」の利用可否にまで影響を及ぼします。

本書は、こうしたプリインストール版 Office の選び方に関する疑問や不安を解消しつつ、今後の主流となる Microsoft 365 ならではのメリットを解説した小冊子です。特に、文書作成やデータ分析を強力に支援する AI 機能「Copilot」を Office アプリ内で活用する方法について詳しく解説しています。

本書を手にとることで、Office 選びの迷いがなくなり、さらに Copilot を活用することで日々のパソコン作業がより効率的で楽しくなる一助となれば幸いです。

2026 年 6 月 清水理史

## 最新のセットアップ手順について

本誌の内容は 2026 年 6 月時点での情報です。掲載している表示画面は変更となる可能性があります。最新のセットアップ手順についてはイン

ターネットに接続された PC やスマホでこちらの QR コード先、または URL 先のサイトをご覧ください。  
<https://aka.ms/setupm365pc>



## 目次

01	選べる2つのOfficeアプリ	Microsoft 365とOffice 2024	2
02	Microsoft 365で何ができるの?	サブスクリプション	6
03	Microsoft 365を利用するには	Microsoft 365の利用	10
04	Office 2024を利用するには	Office 2024の利用	16
05	Copilot って何?	生成AI	18
06	CopilotでOfficeをもっと便利に使おう	Microsoft 365 Copilot	22
07	日常が楽しくなるOfficeの使い方	楽しもうOffice	28

# 01

## 選べる2つのOfficeアプリ

### Microsoft 365とOffice 2024

新しいパソコンでは、プリインストール版のOfficeに2つの契約形態が用意されました。それぞれ、どのような違いがあって、何を基準に選べばいいのかを見てみましょう。

#### クラウドやAIを活用できるMicrosoft 365 Personal

これまで、パソコンにプリインストールされているOfficeは永続版のOffice Home & Business 2024でしたが、新たな選択肢として24か月無料版のMicrosoft 365 Personalも選べるようになりました。まずは、Microsoft 365 Personalを3か月間試用し、その間にどちらを使うかを選択します。パソコンの用途や利用スタイルに合わせて、自分に合ったOfficeを選べるのがメリットです。



#### 用語解説

##### Microsoft 365

Microsoft 365は、生産性向上のためのアプリやサービスを統合したソリューションです。Officeアプリ、OneDriveなどのクラウドサービス、AIを活用した機能、高度なセキュリティなどがまとめて提供されます。毎月または毎年、利用料を支払うことで継続的に利用できるサブスクリプションサービスとして提供されています。

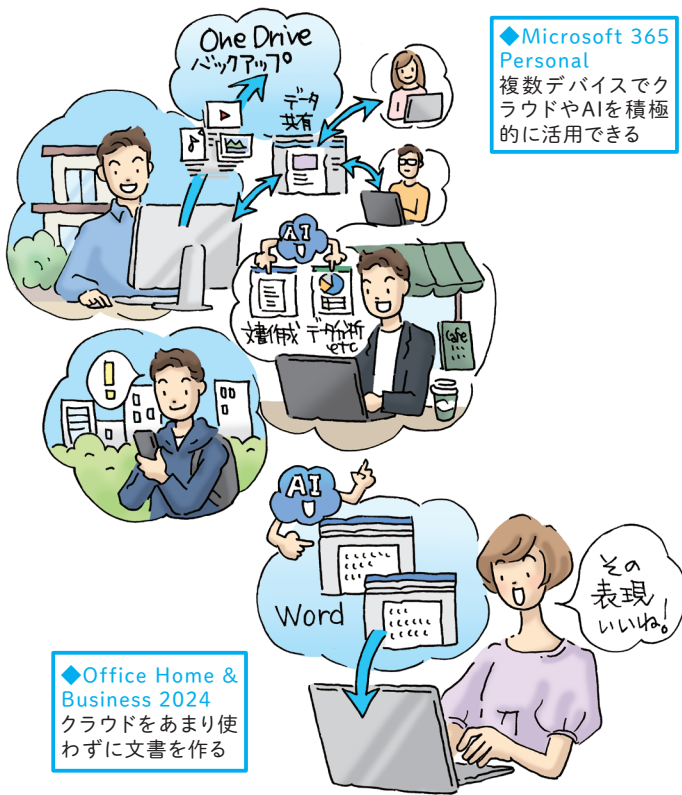
#### 👍 スキルアップ

##### すでにMicrosoft 365 Personalを契約している場合は

パソコンにプリインストールされている24か月無料版のMicrosoft 365 Personalは、既存の契約と合わせて利用できます。例えば、年払いで契約済みのMicrosoft 365 Personalがある場合は、残りの利用期間が24か月延長されます。

## どちらを選べばいいの？

Microsoft 365 Personalは、Officeアプリと豊富なクラウドサービス、さらに高度なAI機能が一緒に活用できるサービスです。定額制のサブスクリプションサービスですが、最大24か月は無料で利用できます。もう一つはOfficeアプリのみを利用するOffice Home & Business 2024です。永続無料で利用できるシンプルな選択肢となります。



### ● Microsoft 365 Personalならではのメリット

Microsoft 365 Personalのメリットは大きく4つです。更新で新機能が追加され年々便利になることや、大容量のOneDriveにデータを保存できること、Officeアプリの利用時にAIアシスタントのCopilotが利用できること、充実のサポートがあることです。

常にOfficeアプリの最新機能が利用可能



1TBのクラウド



AIのCopilot



充実のサポート



## 💡 使いこなしのヒント

### 複数台のパソコンで使える Microsoft 365 Personal

Office Home & Business 2024は、最大2台のパソコンで利用可能です。一方、Microsoft 365 Personalは、1つの契約で5台のデバイスにOfficeアプリをインストールできます。例えば、自宅のパソコンに加えて、外出先に持ち歩くためのノートパソコンやモバイル端末などにインストールして利用できます。

### ⚠️ ここに注意

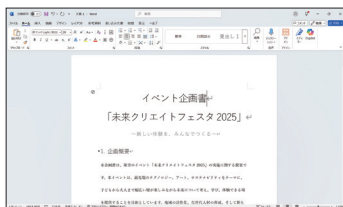
Microsoft 365 Personalか、Office Home & Business 2024かの選択は慎重に検討しましょう。一度どちらかを選択すると選び直せません。特に、Office Home & Business 2024を選ぶと、クラウドストレージが1TBから5GBに一気に減り、Copilotを使って一緒にアイデアを膨らませたり、万が一の場合にサポートに頼ったりができなくなります。

## どちらを選んでもOfficeアプリは使える

Microsoft 365 PersonalとOffice Home & Business 2024のどちらを選んだとしても、Word、Excel、PowerPoint、Outlook、OneNoteなどのOfficeアプリは利用可能です。手元にある資料を開いたり、新しい文書を作ったりできるという、Officeアプリがプリインストールされたパソコンならではのメリットは共通です。

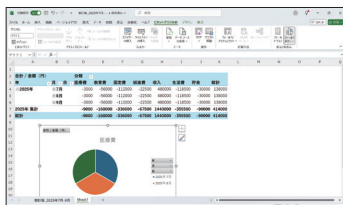
### ● Microsoft Word

ビジネス文書やレポート、チラシなど、さまざまな文書を作るアプリ。凝ったレイアウトや豊富な装飾で見やすい文書を作成できます。



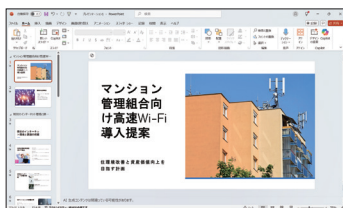
### ● Microsoft Excel

データの集計やグラフ化が簡単にできる表計算アプリ。ビジネスシーンでのデータ分析や家庭での家計簿の管理など、多彩な用途に使えます。



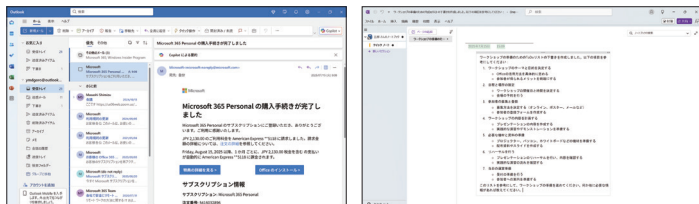
### ● Microsoft PowerPoint

プレゼンテーション用の資料を作成できるアプリ。文字や画像、図形などを見やすくレイアウトして、説得力のある資料を作成できます。



### ● Microsoft Outlook/OneNote

メールや予定、タスクを管理できるMicrosoft Outlookや、アイデアの整理や議事録の作成などに役立つMicrosoft OneNoteも利用可能です。



## 💡 使いこなしのヒント

### Microsoft 365 Personalなら追加のアプリを利用可能

Microsoft 365 Personalを選択すると、ここで紹介したアプリ以外に、データベースソフトのMicrosoft Access (Windows版)を利用できます。また、多彩なフォームを作れるFormsやAIを活用したデザインが可能なDesigner、簡単に動画編集ができるClipchampなどで、より多くのデータを作成したり、高度なAI機能を活用したりできます。

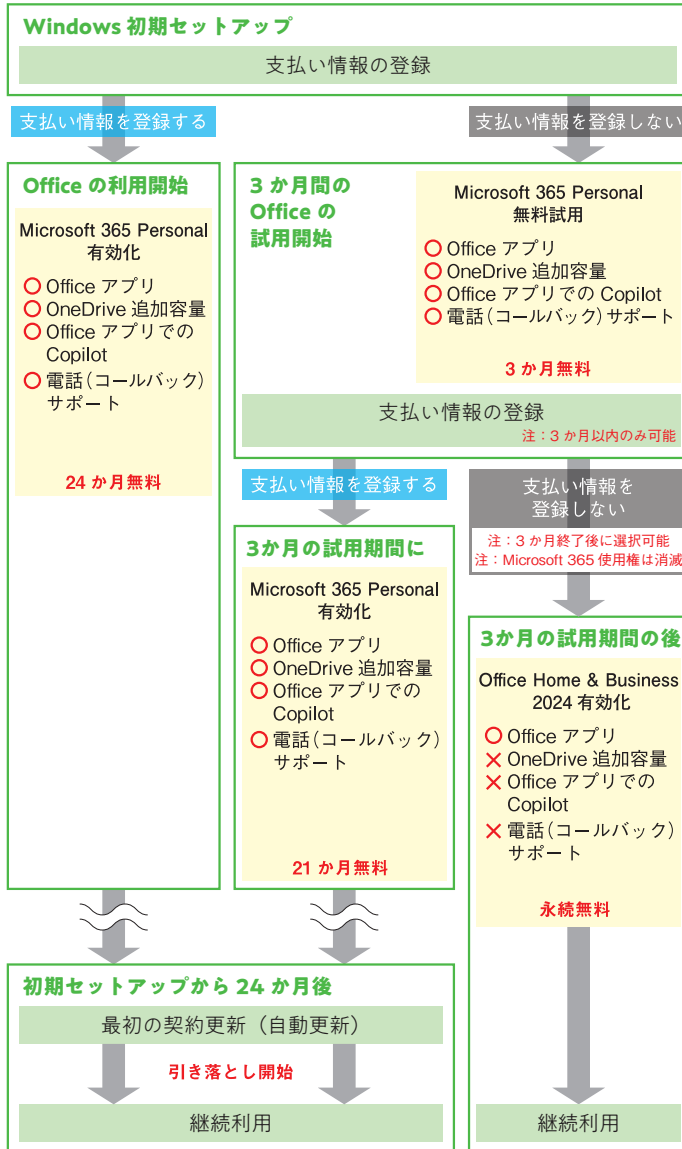
## 💡 使いこなしのヒント

### 最新バージョンを使える Microsoft 365 Personal

Microsoft 365 PersonalのOfficeアプリは、アップデートによってバージョンが更新され続けるため、追加機能が搭載された最新版を常に利用できます。一方、Office Home & Business 2024は、基本的にバージョンが固定されるため、一般的なOffice 2024の機能のみが利用できます。

## どうやって選ぶの？

Microsoft 365 PersonalかOffice Home & Business 2024かの選択は、Windows 11の初期セットアップのタイミングや、初期設定から3か月間用意されている無料試用期間のタイミングで決断する必要があります。以下の流れをよく確認しておきましょう。



## 使いこなしのヒント

### 最初からMicrosoft 365 Personalを選ぶ

Windows 11の初期セットアップの段階で、Microsoft 365 Personalのオファーを有効化し、支払い情報を登録すると、権利として付与されている24か月間の無料期間をフルに有効化できます。複数のパソコンやタブレットでも利用できるようになるため、最初からMicrosoft 365 Personalを使うと決めている場合は、初回に有効化するといいでしょ。

### ⚠️ ここに注意

一旦Microsoft 365 Personalのオファーを有効化し、支払い情報を登録すると、Office Home & Business 2024を選ぶ権利は失われます。選び直しはできないので、慎重に検討しましょう。

## 使いこなしのヒント

### パソコン買い替えの予定がある場合は

2年以内にパソコンを買い替える予定がある場合は、Microsoft 365 Personalの選択をおすすめします。残りの契約期間を新しいパソコンで引き継げるため、Microsoft 365 Personalを無料で使える期間がさらに長くなります。

### まとめ

### 違いを理解して慎重に選ぼう

Microsoft 365 Personalは、無料期間が24か月となりますが、多彩な便利機能を活用できます。一方、Office Home & Business 2024は永続無料で使えますが、せっかくの大容量ストレージやCopilotによる生産性向上という、大きなメリットが失われてしまいます。どちらを選ぶかは、パソコンの用途によって変わります。3か月の試用期間中、慎重に検討しましょう。

# 02

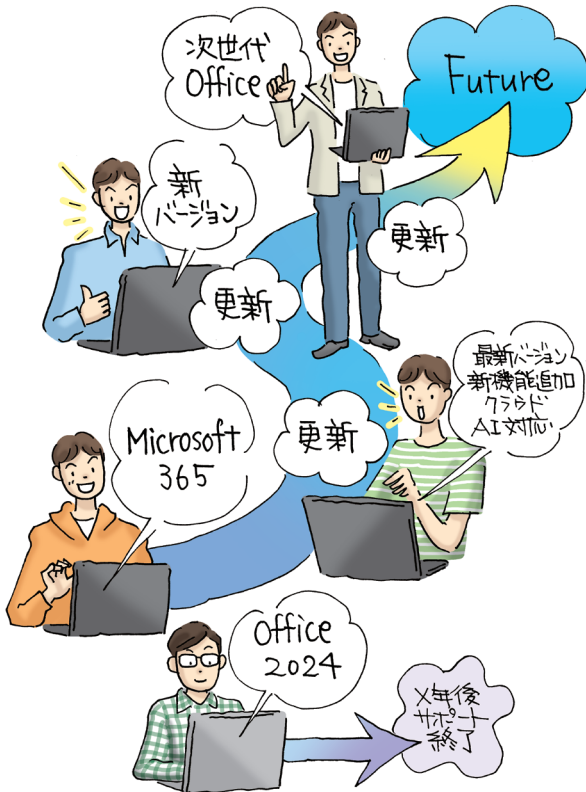
# Microsoft 365で 何ができるの？

## サブスクリプション

Microsoft 365 Personalを選ぶメリットは、具体的にどのようなところにあるのでしょうか？ パソコンを使う日常シーンで何が変わるのかを見てみましょう。

### 進化するOfficeを体験し続けられる

Microsoft 365 Personalは、毎年もしくは毎月、契約を更新して継続的に使い続けられるサブスクリプションサービスです。プリインストール版では24か月無料となっており、その間も提供されるOfficeアプリやクラウドサービスは更新されます。Officeアプリに追加された新機能を試したり、進化するAI機能を体験したり、新しいクラウドサービスを活用したりと、Officeの進化によってできることが広がり、作業効率も向上し続けます。



### 💡 使いこなしのヒント

#### Office Home & Business 2024は固定

進化し続けるMicrosoft 365 Personalに対して、永続版のOffice Home & Business 2024は変化しません。細かな変化はあっても基本的にバージョンはそのままで、新機能も追加されません。使い始めたときの機能やサービスを、そのまま永続的に使い続けることになります。

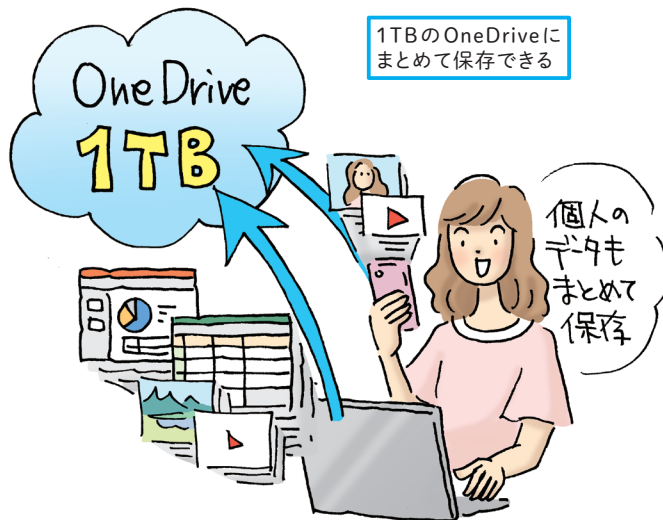
### 💡 使いこなしのヒント

#### 途中で解約したらどうなるの？

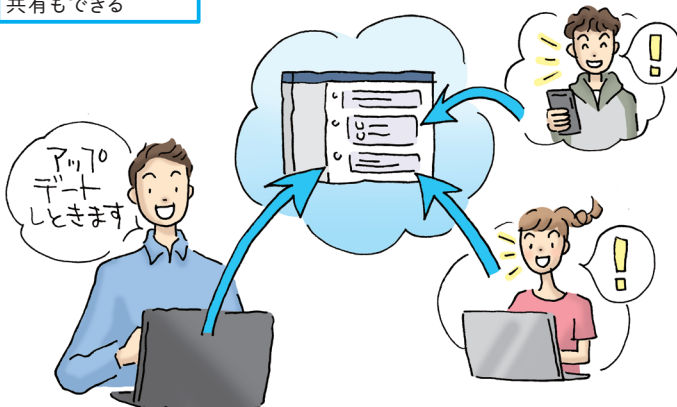
Microsoft 365 Personalのサブスクリプションを解約すると、OfficeアプリやOfficeのCopilotなどが使えなくなり、OneDriveのクラウドストレージも一定期間経過後に追加容量分のデータが削除されます。プリインストール版は、無料で使える期間が終了した後に解約となります。

## クラウドストレージのOneDriveが1TBになる

Microsoft 365 Personalを利用すると、クラウドストレージサービスであるOneDriveの容量が1TBとなるため、パソコン上の文書や写真など、ほとんどのデータを保存し、同期できます。大切なデータのバックアップとして活用したり、クラウドを経由してほかの人と文書を共有したりできます。また、自動保存が有効化され意識しなくてもファイルを保存できたり、間違って編集してしまったOffice文書を履歴から復元したりも可能です。さらに、スマートフォンのOneDriveアプリで外出中の文書編集や写真のバックアップにも活用できます。



複数名でのファイル共有もできる



### 💡 使いこなしのヒント

#### どこにデータが保存されるの？

OneDriveのデータは、インターネット経由でMicrosoftのデータセンターに保管されます。クラウドといっても、インターネット上の誰もがアクセスできる場所ではなく、厳重に管理された自分専用のストレージ領域に保管されます。また、バックアップが保管され、簡単には消失しないように工夫されています。

### 💡 使いこなしのヒント

#### セキュリティが心配な人も安心して使える

OneDriveのデータは、厳密なセキュリティで管理された場所で保管されており、パソコンとの間での通信も暗号化されています。このため、大切なファイルが第三者に見られてしまう心配はありません。間違っただけで相手にうっかりファイルを共有するなどの操作ミスをしないうちは安全に利用できます。

### 👍 スキルアップ

#### スマートフォンでも使える

スマートフォンにOneDriveアプリを追加すると、外出先や移動中などでもOneDriveのファイルを参照できます。また、スマートフォンで撮影した写真のバックアップ先としてもOneDriveを利用できます。スマートフォンの容量不足解消などにも役立つでしょう。

## OfficeアプリでCopilotによるAI機能を活用できる

Microsoft 365 Personalで、最先端のAI機能を活用しましょう。Microsoft 365 Personalでは、Word、Excel、PowerPoint、Outlook、OneNoteにCopilotというMicrosoftのAI機能が追加されます。リボンのボタンや編集画面に現れるアイコンをクリックすると、Copilotがすぐに呼び出され、文章の下書きなどを生成できます。企画書のアイデアを考えてもらったり、メールの返信内容を書いてもらったりと、毎日の作業で頼りになる存在です。「世界が変わる」というもいいほど生産性が変わるので、ぜひ活用しましょう。



## 🌟 使いこなしのヒント

### AIにデータを入力しても大丈夫?

Copilotに入力したデータは、AIの学習に使われることはありません。安心してCopilotを利用しましょう。ただし、入力したデータから生成された回答に個人情報や大切なデータが含まれることがあります。Copilotの生成結果を使うときは内容を精査する必要があります。

## 👍 スキルアップ

### Formsでも使える

Microsoft 365 Personalの契約者は、Officeアプリだけでなく、クラウドサービスとして提供されているアプリでもCopilotを利用可能です。例えば、申し込みフォームやアンケートなどの作成に便利なFormsでもCopilotを利用できます。作りたいフォームの概要を指示するだけで、自動的にフォームを作成できます。

## 継続的なセキュリティ更新の提供で安全に

Office 2019やOffice 2016は2025年10月14日でサポートが終了しましたが、Microsoft 365 Personalはサポート終了の心配はありません。サブスクリプションを契約し続ける限り、セキュリティ更新プログラムや新しいバージョンへの更新も続けられます。



常に最新版のOfficeが利用でき、セキュリティ対策も万全

## 電話（コールバック）サポートも利用可能

Office製品に関する疑問やトラブルなどが発生しても心配ありません。無料の電話（コールバック）サポートを受けられるため、安心してOfficeアプリを利用できます。

電話で疑問点を解消できる



## 使いこなしのヒント

### Microsoft Defenderも利用可能

Microsoft 365 Personalでは、Microsoft Defenderを利用したセキュリティ機能も利用可能です。AndroidやiOSデバイスを含めた保護機能や、管理機能を使って所有している複数のデバイスのセキュリティ状況を管理できます。

## 使いこなしのヒント

### 複数のデバイスで利用可能

Microsoft 365 Personalでは、同一のMicrosoftアカウントで最大5台までのPCで同時にOfficeアプリを使えます。また、Windowsだけでなく、MacにもOfficeアプリをインストールできます。用途や拠点によってパソコンを使い分けている場合におすすめです。

## まとめ

### Microsoft 365 Personalがお得

Microsoft 365 PersonalにはOffice Home & Business 2024にはないたくさんの魅力があります。中でもOneDriveの1TBのクラウドストレージとOfficeアプリでのCopilotのアシスト機能は非常に魅力的です。これらが使える場合と、使えない場合では、パソコンでの生産性に大きな違いが生まれます。Microsoft 365 Personalを選択して、新しい時代のパソコン環境を体験してみましょう。

# レッスン 03

# Microsoft 365を 利用するには

**注意** 本誌で紹介している手順は2026年6月時点の情報です。最新のセットアップ手順の確認方法は、P.1の注を参照してください。

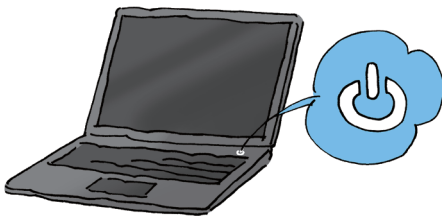
## Microsoft 365の利用

パソコンにプリインストールされているOfficeアプリを使えるように設定しましょう。このレッスンでは、Microsoft 365 Personalを選択する方法を解説します。

### 方法① 初期セットアップで有効化する

最初からMicrosoft 365 Personalを利用することを決めている場合は、Windowsの初期セットアップ画面でMicrosoft 365 Personalの24か月無料のオファーを有効化します。支払い情報を登録して利用を開始しましょう。

#### 1 Windows 11の初期セットアップを実行する



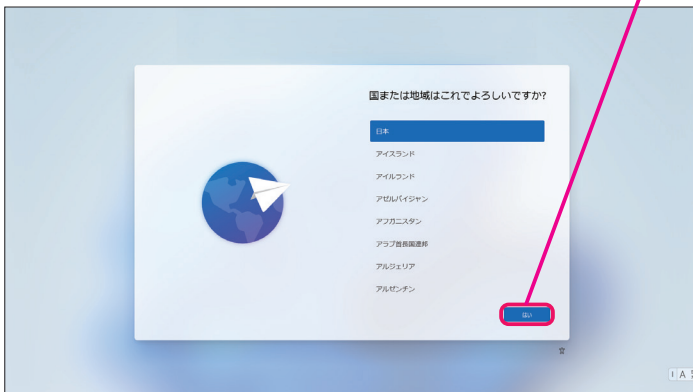
電源ボタンにはこのようなマークが付いている

1 電源ボタンを押す

Windowsが起動した

画面の指示に従って設定する

2 [[はい] をクリック



Microsoft 365の画面が表示されるまで設定を進める

### 💡 使いこなしのヒント

#### すでに初期セットアップしている場合は

Windowsの初期セットアップ時、ここで説明している手順のように24か月無料のオファーを有効化した場合は、すでに24か月の無料期間が開始しています。一方、有効化しなかった場合は、Officeアプリの初回起動時にも同様にオファーの有効化／無効化が選択できます。Officeアプリでも有効化しなかった場合は、Windows アクティベーション（初期セットアップ）から6か月後にMicrosoft 365 PersonalおよびOffice Home & Business 2024の利用権限が消失します。このレッスンの「方法② 3か月の試用期間内に有効化する」を参照して、試用期間内にオファーを有効化できます。

### 💡 使いこなしのヒント

#### Officeアプリで使えるCopilotのメリットを見てみよう

Microsoft 365 Personalを有効化するかどうかが迷っている場合は、先に**レッスン06**以降を確認しましょう。OfficeアプリでCopilotを使うと何ができるのか、どう便利なのかを具体的に紹介しています。Microsoft 365 Personalを選ぶメリットを実感できるでしょう。

## 2 Microsoft 365 Personalを有効化する

1 Microsoftアカウントの説明画面で「サインイン」をクリック

Microsoft 365 Personalの案内が表示された



2 「次に進む」をクリック

ここでは、24か月分の無料利用をすぐ開始する

3 継続請求をオンに設定



4 「支払方法の追加」をクリック

## 3 支払い情報を登録する

支払いに利用するクレジットカードを手元に用意しておく



1 カード情報を入力

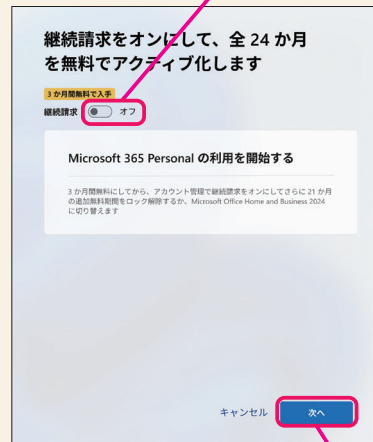
2 「次へ」をクリック

## 使いこなしのヒント

### Microsoft 365 Personalを体験するには

Microsoft 365 Personalの継続利用に迷う場合は、手順3の「継続請求」をオフにすることで、3か月間 Microsoft 365 Personalを試用できます。

1 ここをクリックしてオフに設定



2 「次へ」をクリック

支払い情報は登録せずにWindows 11の初期設定を完了させる

## 👍 スキルアップ

### クレジットカード以外の支払い方法は選べる?

ここでは支払い方法としてクレジットカードを利用する方法を紹介していますが、クレジットカード以外にデビットカードやPayPalでの支払いも可能です。自分に合った支払い方法を選びましょう。

## ⚠️ ここに注意

支払い情報を登録して24か月のMicrosoft 365 Personalの無料オファーを有効化すると、以降はOffice Home & Business 2024が選択できなくなります。どちらか一方のOffice製品しか選択できないので注意しましょう。

## ● 住所を登録する

3 クレジットカードに登録されている住所を入力

4 [次へ] をクリック

請求先住所の追加

必須

市区町村\*

郵便番号

オプションの選択

市区町村\*

町名、番地\*

建物名、部屋番号 (省略可)\*

国/地域\*

Microsoftアカウントを使用してサインインすると、この作業を迅速に完了し、必要な住所を自動的に検出できます。住所を変更する場合は、先にアカウントをサインインしてください。

キャンセル 次へ

クレジットカードの認証が実行された場合は完了しておく

5 [継続請求] のここをクリックしてオンに設定

クレジットカードが登録された

継続請求を有効にしますか？

継続請求  オン

Microsoft 365 Personal

続行

6 [次へ] をクリック

Microsoft 365 Personalが有効化された

すべて完了しました！

Microsoft 365 サブスクリイパーになり、おめでとうございます！AI 搭載機能、大容量のクラウドストレージ、高度なセキュリティを備えた Word、Excel、PowerPoint などのおアプリを使用して、データとデバイスを保護できるようになりました。

Microsoft 365 Personal

次へ

7 [次へ] をクリック

Windows 11の初期設定を続けて完了させる

## 💡 使いこなしのヒント

### Officeアプリから有効化するには

Windowsの初期セットアップでオファーを有効化し忘れたときも、Officeアプリの初回起動時にオファーを有効化できます。このレッスンの手順と同様に、支払い情報を登録してMicrosoft 365 Personalを有効化しましょう。

Officeアプリの初回起動時にも24か月無料のオファーが表示される



## 💡 使いこなしのヒント

### 支払いが開始されるわけではない

支払い情報を登録しても、すぐに支払いが開始されるわけではありません。最大24か月の無料オファーの期間中はMicrosoft 365 Personalの支払いは発生しません。無料期間が終了したタイミングで契約が自動更新され、登録したクレジットカードなどに費用が請求されます。また、無料期間に定期請求をオフにすれば自動更新されることはありません。

## 💡 使いこなしのヒント

### すべての機能を3か月間使える

3か月の試用期間中は、WordやExcel、PowerPoint、OutlookなどのOfficeアプリに加えて、1TBのOneDriveやOfficeアプリでのCopilotなど、Microsoft 365 Personalのすべての機能が使えます。継続して利用するかどうかを判断するために、積極的にいろいろな機能を試してみましょう。

## 方法② 3か月の試用期間内に有効化する

方法①の手順で24か月オファーを有効化しなかった場合は、3か月間、Microsoft 365 Personalを試用できます。試用期間後もMicrosoft 365 Personalを使いたい場合は、試用期間中に忘れずにオファーを有効化しましょう。

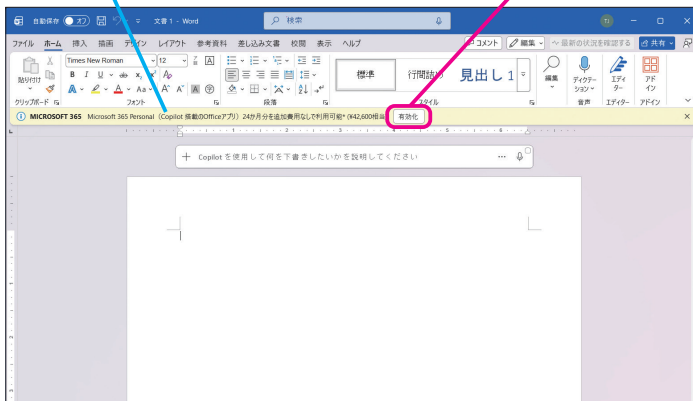
初期セットアップで24か月のオファーを有効化しなかった場合に実行する

3か月の試用期間内に実施する

ここではOfficeアプリのうち、Wordを起動して有効化する

3か月の試用期間が終了するまでに、2年分無料のオファー<sup>※</sup>が何度か通知される

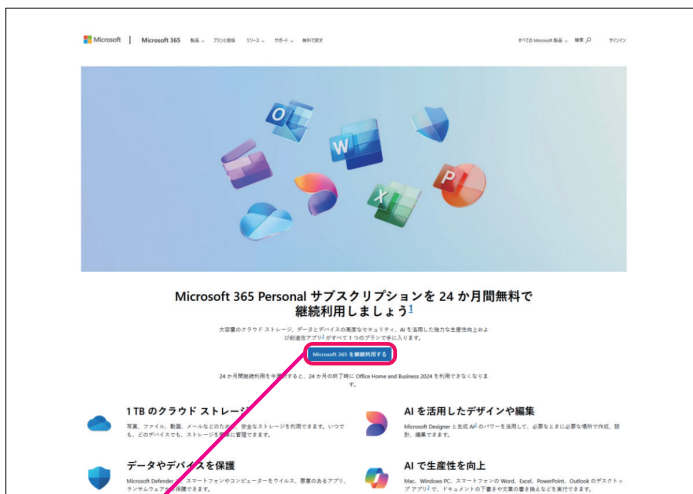
1 [有効化] をクリック



※2年分無料のオファーは定期的に表示されます

ブラウザが起動し、Microsoftアカウントの【サブスクリプション】のページが表示された

Microsoft 365 Personalの24か月無料のオファーが表示される



2 [Microsoft 365を継続利用する] をクリック

## ⚠️ ここに注意

Microsoft 365 Personalの3か月使用登録をすると、Microsoftからメールが届きます。方法②の手順1 [アクティベートしましょう]といった表示がない場合でも、メール内のリンクや「Microsoft 365 Personal プレインストール オファー ページ」にアクセスすると方法②の手順2の画面を表示できます。

▼Microsoft 365 Personal  
プレインストール オファー ページ  
<https://aka.ms/Get365>



## ⚠️ ここに注意

学校や職場のアカウントをお持ちの場合は、アカウントをリンクすると個人のアカウントと学校や職場のアカウントを用途に応じて切り替えて利用できます。リンクの方法は「Microsoft アカウントの組み合わせ」ページで確認できます。それぞれのアカウントは学校や職場の規定を確認の上運用しましょう。

▼Microsoft アカウントの組み合わせ  
[https://aka.ms/microsoft\\_account\\_link](https://aka.ms/microsoft_account_link)



## ⚠️ ここに注意

24か月無料のオファーは、試用期間の3か月間のみ選択できます。オファーを有効化しないまま3か月の試用期間が終了すると、Microsoft 365 Personalを24か月無料で契約する権利は消滅し、Office Home & Business 2024のみ選択可能な状態になります。

## ● Microsoft 365 Personalを有効化する

Microsoft 365 Personalの購入画面が表示された

### 3 [注文手続きへ進む] をクリック



カード情報の入力画面が表示されたときは、画面の指示に従って設定する

### 4 [注文を確定する] をクリック



画面の指示に従ってMicrosoft 365 Personalをインストールする

## 💡 使いこなしのヒント

### 無料オファー期間終了後に支払いが開始される

ここで有効化した最大24か月の無料期間が終了すると、Microsoft 365 Personalの契約が自動更新され、登録したクレジットカードでの支払いが開始されます。Microsoft 365 Personalを解約しない限り、継続してOfficeアプリやOneDrive、Copilotなどの機能を利用できます。

## 💡 使いこなしのヒント

### Office Home & Business 2024を選ぶには

どうしてもOffice Home & Business 2024を選択したい場合は、オファーを無効のまま利用します。3か月の試用期間終了後、**レッスン04**を参考にOffice Home & Business 2024を有効化しましょう。

## ⚠️ ここに注意

このページの手順で24か月のMicrosoft 365 Personalの無料オファーを有効化すると、以後、Office Home & Business 2024は選択できなくなります。

## ⚠️ ここに注意

Microsoft 365 PersonalのライセンスはMicrosoftアカウントに紐づいているため、パソコン本体を手放す場合も、Microsoft 365 Personalのサブスクリプションを利用できます。新しいパソコンから以前のMicrosoftアカウントでサインインすれば、今までのライセンスが有効になります。新しいパソコンで24か月無料のオファーが提供されていれば、無料期間をさらに延長できます。なお、手放したパソコンでは、すでに無料オファーを使用済みなので、無料オファーは使えません。

## Microsoft 365 Personalの有効化を確認する

Microsoft 365 Personalが有効になったかどうかは、Officeアプリの画面で確認できます。以下の手順でMicrosoftアカウントにMicrosoft 365 Personalのライセンスが紐づけされているかを確認しましょう。

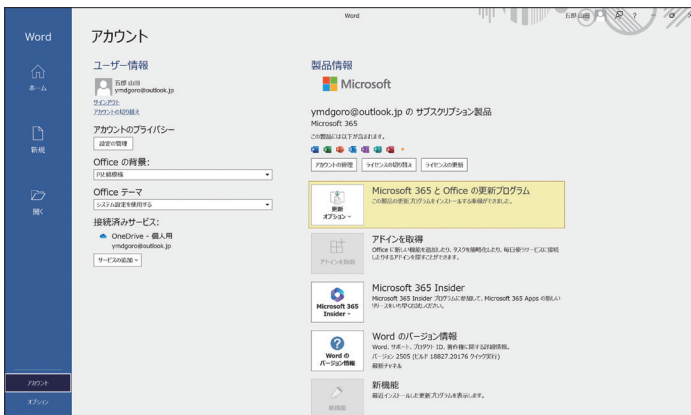
ここでは、Wordでライセンスを確認する

Windowsを起動し、スタートメニューからWordを起動する



1 [アカウント] をクリック

Microsoftアカウントに紐づけられたライセンスが表示される



◆以後、継続して使える機能

- Officeアプリ
- OneDrive 追加容量
- OfficeアプリでのCopilot
- 電話（コールバック）サポート

## 使いこなしのヒント

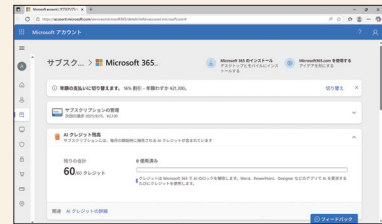
### Microsoftアカウントで管理される

Microsoft 365 Personalのサブスクリプションは、Microsoftアカウントで管理されます。Microsoftアカウントのサイトにアクセスすると、契約中のサブスクリプションの種類や金額、次回の請求日などを確認できます。また、支払い情報の変更や、サービス自体の解約もMicrosoftアカウントのサイトからできます。

### ▼Microsoftアカウント

<https://account.microsoft.com/>

クレジットカードの変更や定期購入の停止などができる



### まとめ

### 有効化のタイミングはじっくり考えよう

ここで解説したように、Microsoft 365 Personalを有効化するタイミングは、複数あります。Windowsの初期設定時やOfficeアプリの初回起動時のほか、初回起動から3か月の試用期間中に有効化できます。Microsoft 365 Personalを試用してじっくり検討してから登録することもできます。

# 04

# Office 2024を 利用するには

**注意** 本誌で紹介している手順は2026年6月時点の情報です。最新のセットアップ手順の確認方法は、P.1の注を参照してください。

## Office 2024の利用

パソコンでOfficeアプリを利用可能にするための、もう1つの方法を見てみましょう。ここではOffice Home & Business 2024を選択する方法を解説します。

### 3か月の試用期間終了後に選択可能

3か月のMicrosoft 365 Personalの試用期間終了後、Microsoft Office Home & Business 2024に移行できます。

### 1 Office Home & Business 2024のオファーを確認する

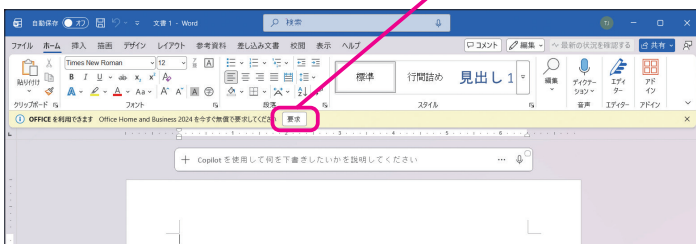
初期セットアップで24か月のオファーを有効化しなかった場合に実行する

3か月の試用期間が終了してから実施する

ここでは、OfficeアプリのWordを起動して有効化する

Office Home & Business 2024のオファーが通知される

1 [要求] をクリック



2 [要求する] をクリック



### 💡 使いこなしのヒント

#### Office Home & Business 2024で使える機能

Office Home & Business 2024ではWord、Excel、PowerPoint、OutlookのOfficeアプリを利用できますが、OfficeアプリでCopilotを利用することはできません。また、OneDriveは利用できますが、容量が5GBに制限されます。

#### ⚠️ ここに注意

試用期間となる最初の3か月は、Office Home & Business 2024を選択することはできません。試用期間終了後に表示されるオファーから選択できます。Office Home & Business 2024を選択して使用するためには、Microsoft 365 Personalの支払い方法を登録せずに3か月の試用期間の後にOffice Home & Business 2024に切り替えてください。Windowsの初回セットアップから180日以内にMicrosoft 365 Personal 3か月間の試用期間を有効化しない場合、また有効化してもMicrosoft 365 Personalの試用期間終了後90日以内にOffice Home & Business 2024への引き換えを行わない場合、Office Home & Business 2024はご利用いただけません。

#### ⚠️ ここに注意

Office Home & Business 2024で使えるOfficeアプリは、Word、Excel、PowerPoint、Outlook、OneNoteです。なおMicrosoft 365 Personalで使えるAccessは含まれないので注意しましょう。データベースを利用したい場合は、Microsoft 365 Personalを選択する必要があります。

## 2 購入手続きをする

Office Home & Business 2024のページが表示された

注文確定後、プロダクトキーが表示される

1 [入手する] をクリック

2 [注文手続きへ進む] をクリック

注文手続きを進め、[注文を確定する] をクリックする

3 プロダクトキーをコピー

前ページの手順1操作2の画面に戻るので、[有効化する] をクリックして右のヒントを参考に有効化を行う

## ! ここに注意

一度Office Home & Business 2024を選択すると、Microsoft 365 Personalの24か月の無料オファーは無効になります。1TBのOneDriveやOfficeアプリのCopilotを再度使いたい場合は、有料版のMicrosoft 365 Personalを契約する必要があります。

## 💡 使いこなしのヒント

Office Home & Business 2024を有効化するには

前ページ操作2の画面で [有効化する] をクリックした後は、以下のように操作します。

1 操作3でコピーしたプロダクトキーを入力

Office Home & Business 2024が有効化された

## まとめ 永続無料で使える

Office Home & Business 2024は、永続無料で使えるOfficeアプリです。ただし、この選択をするとMicrosoft 365 Personalに戻れなくなる上、1TBのOneDriveの容量も5GBに減り、OfficeアプリでのCopilotも使えなくなります。数々の特典や便利な機能が失われてしまうことを十分に考慮する必要があります。

**注意** 本誌で紹介している手順は2026年6月時点の情報です。最新のセットアップ手順の確認方法は、P.1の注を参照してください。

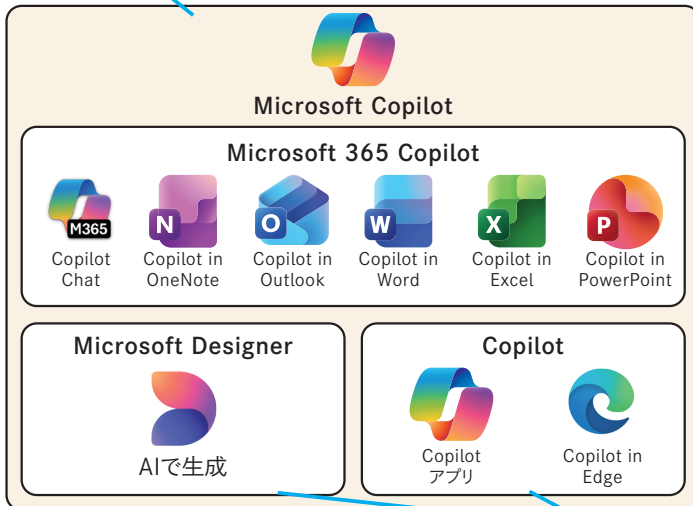
## 生成AI

パソコンで生成AIを使ってみましょう。Windows 11には、Microsoftが開発したCopilotという生成AIが搭載されています。アイデアを考えたり、情報を調べたりするのに便利です。

### 生成AIを活用したMicrosoftのサービス

Microsoftでは、生成AIを活用したさまざまなサービスを提供しています。このレッスンで紹介するのは、図の右下に表示されているCopilotアプリで、チャット形式でいろいろな質問ができます。このほか、ブラウザで見ていたページについて質問できるMicrosoft EdgeのCopilotや、イラストを生成できるMicrosoft Designerなどもあります。また、**レッスン03**でMicrosoft 365 Personalを選択した場合は、OfficeアプリでもCopilotが有効になります（詳しくは**レッスン06**を参照）。

Microsoft 365 Personal選択時は、より多くのCopilotを使える



Office Home & Business 2024選択時は、使えるCopilotが限られる

### 用語解説

#### 生成AI

生成AIは、言語や画像、映像、楽曲などを生成できるAIのことです。自然言語でリクエストすると、質問に合わせた出力結果を得られます。例えば、質問に対して言語で回答するCopilot、詳細を述べた言語から画像を生成するMicrosoft Designerなども生成AIに分類されます。

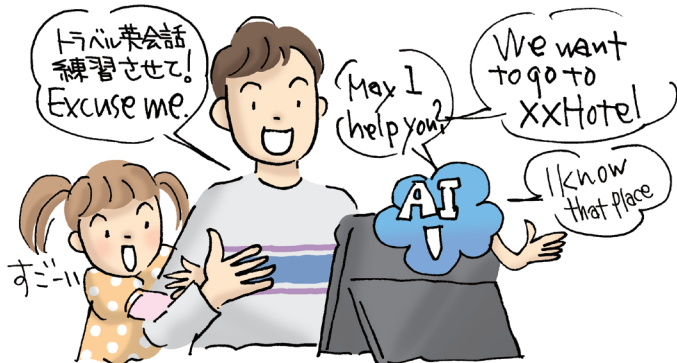
## いろいろな質問に回答してくれるCopilot

Windows 11に搭載されているCopilotアプリは、誰でも無料で使えるAIアシスタントです。自然言語で質問すると、いろいろなことに回答してくれます。Copilotと対話しながらアイデアを発展させたり、知りたい情報についても気軽に質問したりできます。音声での会話もできるので、ちょっとした話し相手にもなります。

思い付いたアイデアを膨らませたりもできる



音声入力も利用できる



## 使いこなしのヒント

### いろいろな機能を搭載

Copilotは、最先端のAIモデルを採用することで、さまざまな機能が利用可能になっています。例えば、言葉だけでなく、画像を貼り付けて、その内容などについて質問できます。また、音声での会話も可能です。

# 1 Copilotに質問する

Copilotは、何でも気軽に質問できるAIアシスタントです。単純に知りたいことを聞くのもいいですが、ここではビジネスシーンを想定して、Copilotを相手に企画のアイデアについて会話を重ねながら、考えを広げたり、深めたりする方法を紹介します。

ここでは誰もが無料で使える Copilotを利用する

1 [Copilot] をクリック

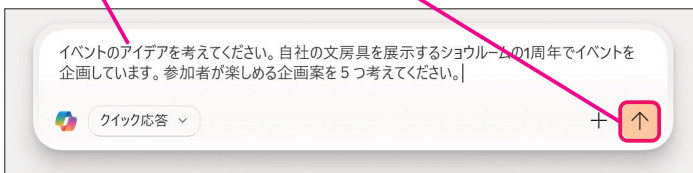


Copilotアプリが起動し、質問ができるようになった



2 プロンプトを入力

3 [メッセージの送信] をクリック



## 質問例

イベントのアイデアを考えてください。自社の文房具を展示するショールームの1周年でイベントを企画しています。参加者が楽しめる企画案を5つ考えてください。

## ⚠️ ここに注意

Copilotを初めて起動したときは、初期設定の画面が表示されます。改善のためのデータ共有やWindows起動時に自動的に起動するかどうかなどの設定ができるので、好みの設定を選択して [続行] をクリックしましょう。

## 👍 スキルアップ

### プロンプトの書き方を覚えよう

Copilotに作業を指示するための文章を一般的に「プロンプト」といいます。あまり意識せずにプロンプトを記述しても、Copilotは意図を理解してくれますが、「何を求めているか?」の目標、「なぜ必要か?」の背景、「どうしたらいいか?」の期待が分かるようにプロンプトの書き方を工夫すると、より正確な回答が得られます。

目標を明確に伝える

背景を説明する

### 質問例

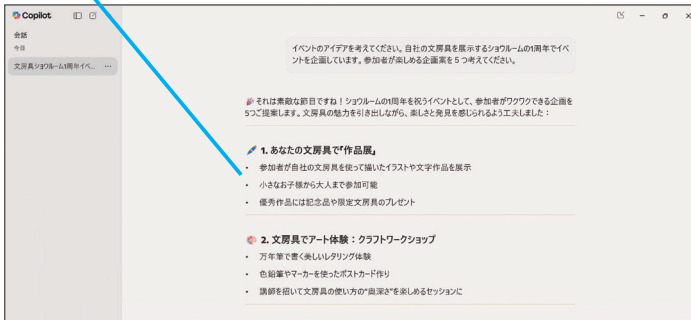
イベントのアイデアを考えてください。  
自社の文房具を展示するショールームの1周年でイベントを企画しています。  
参加者が楽しめる企画案を5つ考えてください。

期待することを補足する

## 2 会話を重ねてアイデアを深める

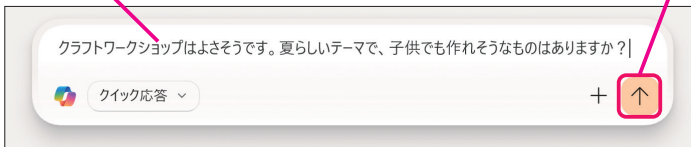
イベントの案が表示された

回答をスクロールして末尾を表示する



1 プロンプトを入力

2 [メッセージの送信] をクリック



### 質問例

クラフトワークショップはよさそうです。夏らしいテーマで、子どもでも作れそうなものはありますか？

回答が表示されるので、思い付くことや疑問を次々に入力して、アイデアを広げたり、深化させていく

最終的に会話をまとめたり、企画書の形で出力してもらうことができる

### 質問例

イベントに必要な機材と予算を検討して  
1か月前からのタイムラインを考えて  
ここまでの会話をまとめて  
...  
企画書にして

## ⚠️ ここに注意

Copilotの出力結果は、すべての情報が正しいとは限りません。中には、事実と異なる情報が紛れ込む場合もあります。出力結果を利用する場合は必ず内容を確認し、必要に応じて出典や別の情報元で内容を確認してから利用する必要があります。

## 💡 使いこなしのヒント

### インターネットから情報を検索できる

Copilotは、インターネット上で公開されているWebページなどから情報を検索して、回答を生成できます。例えば、このレッスンの例に続けて「似たようなイベントの成功事例はありますか？」と質問すると、インターネット上から事例を検索して結果を表示できます。企画書を作成するときなどに、参考資料や説得材料として使うといいでしょう。



回答の基になったソースが表示される

## まとめ アイデアをぶつけて発展させる

Copilotは、さまざまな使い方ができますが、この例のようにアイデアを発展させるために利用すると便利です。自分の頭の中だけで考えていると煮詰まってしまう場合でも、別の切り口を発見したり、気づかなかった価値を見出したりできます。相談相手として気軽に会話してみましょう。もちろん、旅行の計画を考えてもらったり、家族へのプレゼントを相談したりしてみるのも楽しいでしょう。

**注意** 本誌で紹介している手順は2026年6月時点の情報です。最新のセットアップ手順の確認方法は、P.1の注を参照してください。

## Microsoft 365 Copilot

WordやExcel、PowerPointなどのOfficeアプリで、実際にCopilotを使ってみましょう。Microsoft 365 Personalを選択した場合は、Officeアプリでの作業をCopilotがサポートしてくれます。

### CopilotでOfficeがより身近に

作成する文書の内容で悩んだり、プレゼン資料の作成に苦労したりしていませんか？ Officeアプリで使えるCopilotを活用すると、こうしたシーンでの悩みを解決できます。Copilotに依頼して、文書やプレゼン資料の下書き、データ分析などを手伝ってもらいましょう。

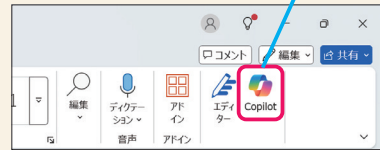


### 💡 使いこなしのヒント

#### Copilotが使えるかどうかを確認しよう

OfficeアプリでCopilotが使える状態になっていると、リボンにCopilotアイコンが表示されます。Copilotアイコンが表示されない場合は、Officeアプリの右上に表示されているユーザーアイコンをクリックして、Microsoft 365 Personalを契約したMicrosoftアカウントでOfficeアプリにサインインしているかを確認しましょう。

[Copilot] ボタンが表示されている



### ⚠️ ここに注意

Microsoft 365 Personalではなく、Office Home & Business 2024を選択した場合は、OfficeアプリでCopilotを利用できません。

## WordのCopilot : Copilotに文章を考えてもらう

例として、WordでCopilotを使ってみましょう。Copilotに作ってほしい文書の内容を伝えると、自動的に下書きが生成されます。ここでは、自社で開催するイベントの案内状と申込書の作成を手伝ってもらいましょう。

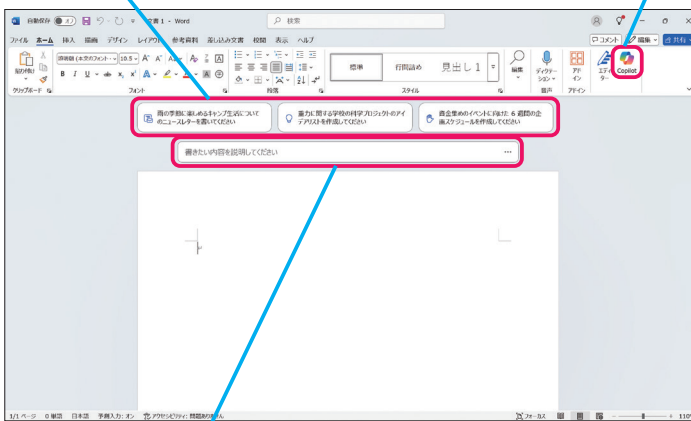


### 1 Wordを起動する

Microsoft 365 Personalを契約した環境でWordを起動する

プロンプトの例が表示されている

[Copilot] ボタンが表示されている



プロンプトを入力して文章の作成を依頼できる

## 💡 使いこなしのヒント

### Wordで使えるCopilotの機能

Wordでは、以下のような機能をCopilotで利用できます。文書を作成したり、文書を読んだりするのに活用しましょう。

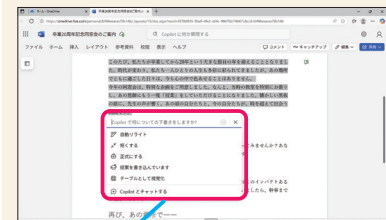
- ・文書の下書きを作る
- ・自分で書いた文章を書き換える
- ・文章の内容を表にする
- ・文章に合った画像を生成する
- ・文章の要約をする

## 💡 使いこなしのヒント

### Web版のOfficeアプリでも使える

OfficeアプリのCopilotは、デスクトップ版のアプリだけでなく、Web版のアプリでも利用できます。外出先で自身のパソコンが使えない環境でも、MicrosoftアカウントでサインインすることでCopilotを活用した作業ができます。

ブラウザーを使ってOneDriveからOfficeファイルを開く

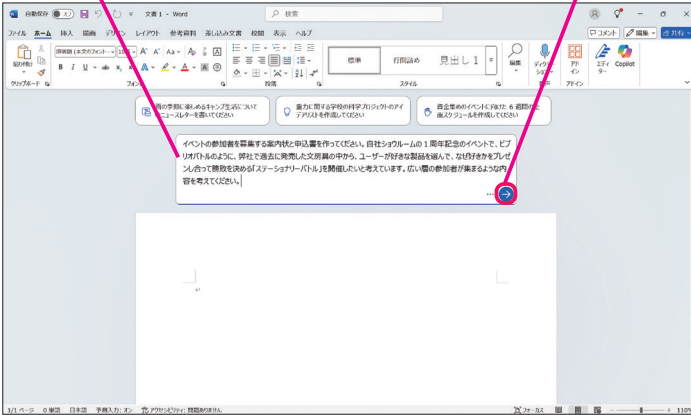


Copilotを使って文章を作成したり、要約したりできる

## 2 プロンプトを入力して文章を生成する

### 1 プロンプトを入力

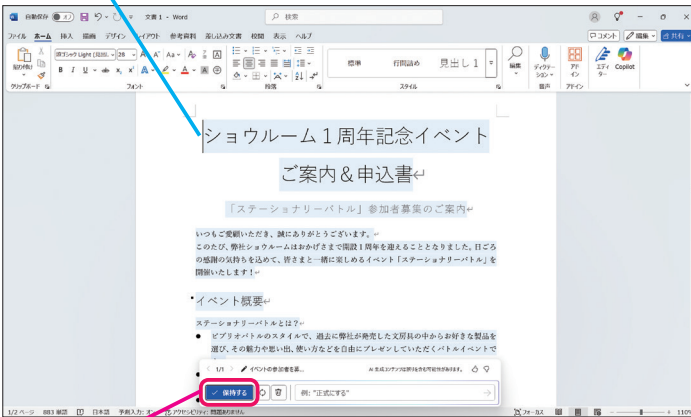
### 2 [送信] をクリック



### 質問例

イベントの参加者を募集する案内状と申込書を作ってください。自社ショールームの1周年記念のイベントで、ピブリオバトルのように、弊社で過去に発売した文房具の中から、ユーザーが好きな製品を選んで、なぜ好きかをプレゼンし合って勝敗を決める「ステーションナリーバトル」を開催したいと考えています。広い層の参加者が集まるような内容を考えてください。

### 提案された文章が表示された



### 3 [保持する] をクリック

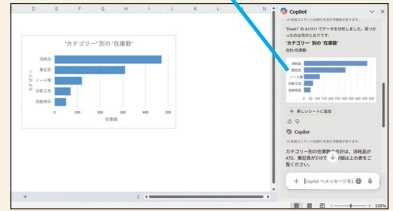
## 使いこなしのヒント

### Excelでも使える

ExcelのCopilotでは以下のような機能を利用できます。

- データの傾向を分析
- 書式設定やフィルター処理
- 関数や数式の生成
- ピボットグラフの生成

### ピボットグラフや関数を簡単に作れる



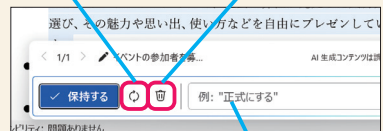
## 使いこなしのヒント

### 回答をカスタマイズできる

手順2の画面で、表示された結果が気に入らないときは、[再生成] をクリックすると別の回答が表示されます。そのほか、プロンプトで要望を伝え、内容を追加したり、長さやトーンなどを調整したりも可能です。

### 別の案を生成する

### 結果を破棄する

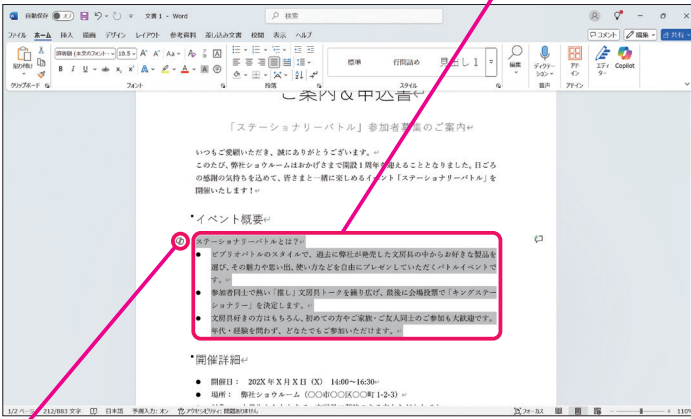


プロンプトで内容を指示して文書を作れる

### 3 文章の一部を書き換える

イベント概要のメッセージを、より参加者に響くような文章に書き換えたい

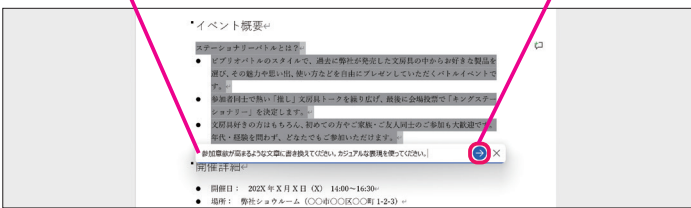
1 書き換えたい部分をドラッグして選択



2 Copilotアイコンをクリック

3 プロンプトを入力

4 [送信] をクリック

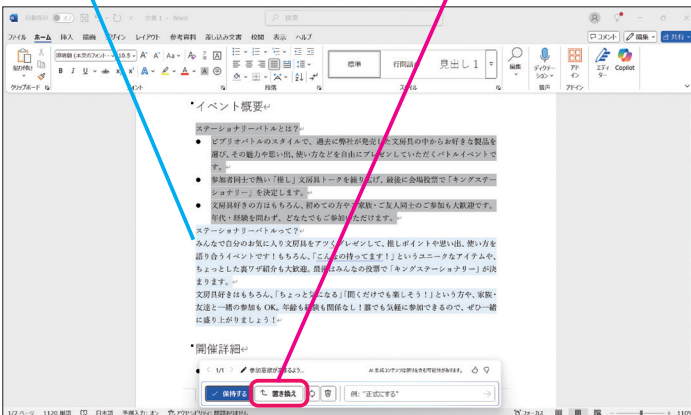


### 質問例

参加意欲が高まるような文章に書き換えてください。カジュアルな表現を使ってください。

提案された文章が表示された

5 [置き換え] をクリック

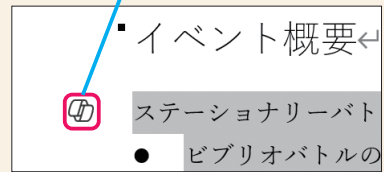


### 使いこなしのヒント

#### 文書の編集も Copilotを利用できる

Wordでは、文章を編集しながらCopilotを利用できます。カーソルを移動したり、文章を選択したりすると、その近くにCopilotアイコンが表示されるので、クリックすると文章の生成や書き換えを依頼できます。

Copilotが使えるシーンで、このアイコンが表示される

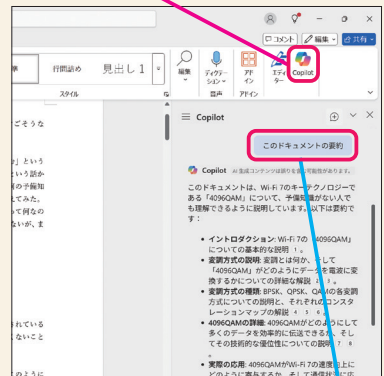


### 使いこなしのヒント

#### 文章の要約もできる

Copilotを使って文書を要約すれば、長い内容を理解するのにも役立ちます。英語や中国語の文書も日本語で要約できるのでビジネスシーンでも役立つでしょう。知りたいことをチャットで質問することもできます。

1 [Copilot] をクリック

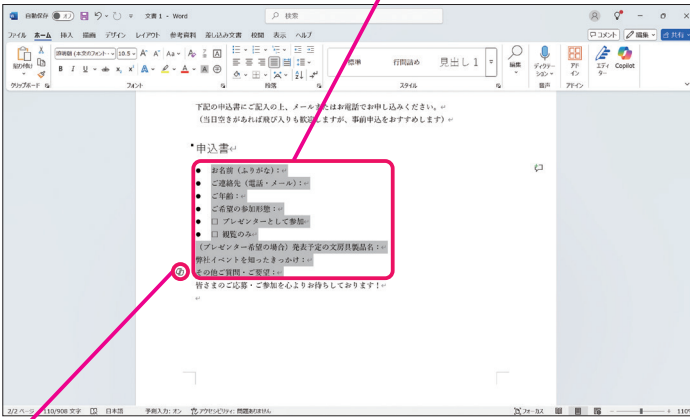


[このドキュメントの要約] を選択して実行する

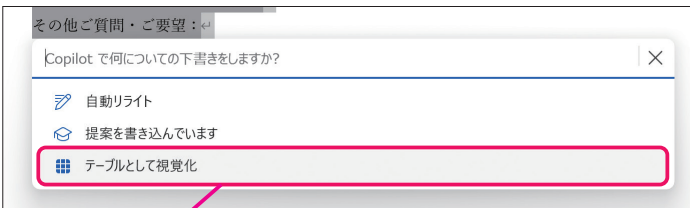
## 4 文章を表に変換する

申込書の項目を文章から表に書き換える

1 書き換えたい部分をドラッグして選択

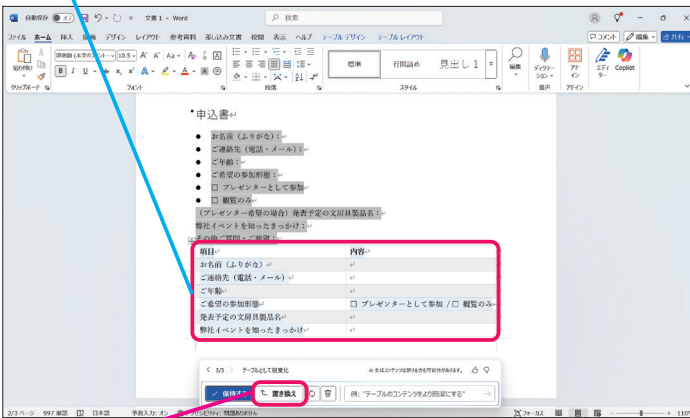


2 Copilotアイコンをクリック



3 [テーブルとして視覚化] をクリック

文章が表に変換された



4 [置き換え] をクリック

## 使いこなしのヒント

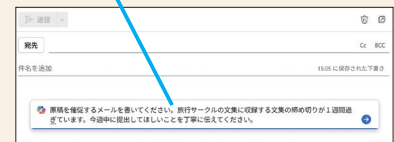
### Outlookでも利用できる

Outlookで使えるCopilotの機能には以下のようなものがあります。

- ・長いメールのスレッドを要約する
- ・メールの下書きを作ってもら
- ・メールの内容や表現についてアドバイスしてもら

また、これらの機能は日本語と英語の双方向に翻訳して実行することも可能です。

プロンプトでメールの内容を指示して下書きを作れる



## 👍 スキルアップ

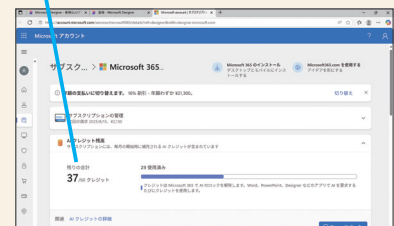
### AIクレジットを確認するには

OfficeアプリのCopilotを使って、下書きを生成したり、文章を書き換えたりすると、AIクレジットが消費されます。現在利用可能なAIクレジットの残りは、Microsoftアカウントのページで確認できます。

### ▼AIクレジットの残高

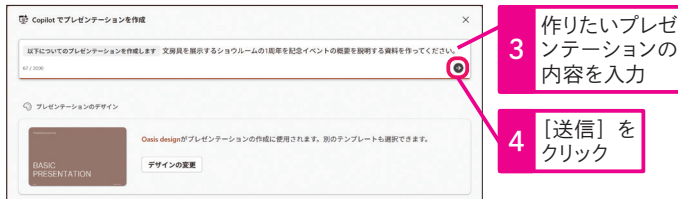
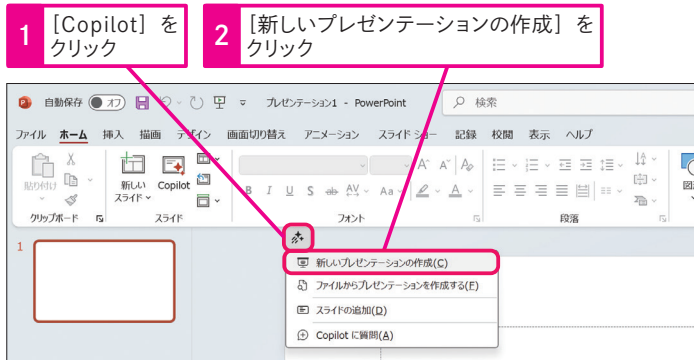
<https://account.microsoft.com/services/microsoft365/details>

利用可能なクレジットが表示される

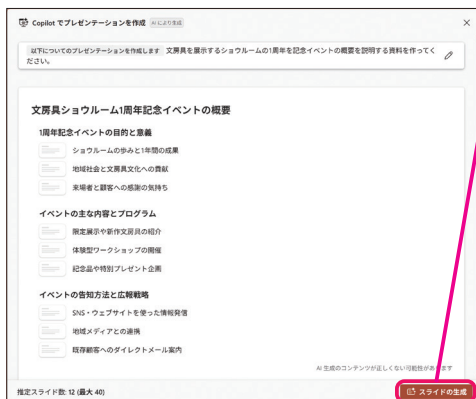


## PowerPointのCopilot : プレゼンテーションを作る

PowerPointのCopilotを使ってみましょう。ここでは作りたいプレゼンテーションの内容を入力して、新しいプレゼンテーションを作成する方法を紹介します。



作成するセクションやスライドの概要が表示された



## 👍 スキルアップ

### AIが利用できるさまざまなアプリやサービス

これまでに紹介した以外にもAIを活用できるアプリやサービスがあります。例えば、Microsoft 365 Personalを選択した場合、以下のようなアプリでもAIを使った機能やCopilotを利用できます。

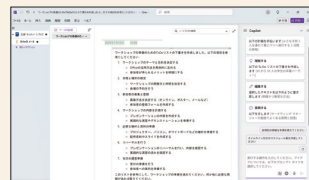
#### ◆ Designer イラストやバナーなどを作る



#### ◆ FormsのCopilot 参加登録やアンケートなどを作る



#### ◆ OneNoteのCopilot メモの要約やタスクリストの生成などができる



### まとめ Copilotで作業が格段に楽になる

Copilotを活用すると、文書やプレゼン資料の作成といった作業が効率化できます。ある程度のアイデアや知りたい情報がイメージできているのであれば、それをCopilotに伝えて形にしてみましょう。時間や労力の節約になるだけでなく、内容を充実させることができます。アイデアを発展させたり、深化させたりするのにも役立ちます。

**注意** 本誌で紹介している手順は2026年6月時点の情報です。最新のセットアップ手順の確認方法は、P.1の注を参照してください。

## 楽しもうOffice

Officeアプリを普段の仕事や生活に、もっと役立ててみませんか？ビジネスシーンや日常生活でよく使うテンプレートとCopilotを組み合わせると、いつもの作業がもっと楽になります。

### 「楽しもうOffice」を活用しよう

Microsoftが運営している「楽しもうOffice」は、Officeを楽しく便利に活用するための情報が掲載されたWebサイトです。豊富なテンプレートも提供されており、業務に役立つ書類や旅行のしおりなど、さまざまな文書を作成するときにも役立ちます。Officeアプリの活用の幅が広がるので、ぜひ活用しましょう。

#### ▼楽しもうOffice

<https://www.microsoft.com/ja-jp/office/homeuse/>



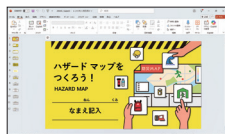
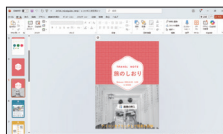
Office製品の紹介、おすすめの機能、使い方を見たり、テンプレートをダウンロードできる

### ●ダウンロードできるテンプレートの例

仲間と楽しむ

仕事に活用する

家族で学ぶ



旅行先の情報や日程などを記載した旅行のしおりなどを簡単に作成できます。

仕事でよく使う請求書や見積書、報告書などの文書を、簡単に作成できます。

学習課題やレポートのアイデアが豊富にあり、家族で学びながら文書を作れます。

### 💡 使いこなしのヒント

#### アプリでも使える

お使いのパソコンによっては、スタートメニューに「楽しもうOffice」のアイコンが登録されている場合があります。アイコンをクリックすると、「楽しもうOffice」のコンテンツが利用できます。

#### アプリからも利用できる



### 💡 使いこなしのヒント

#### いろいろな分野から探せる

テンプレートは、「今月のおすすめ」や「特集」「仕事」「趣味」など、さまざまなカテゴリーから探せます。キーワードからの検索もできるので、「請求書」など使いたい書類名を指定してみましょう。

## テンプレートを使ってみよう

「楽しむOffice」で提供されているテンプレートを使ってみましょう。ここでは、「業務報告書」のテンプレートを利用します。テンプレートをダウンロードしてWordで開きましょう。

1 右記のWebページにアクセス

### ▼Officeテンプレート

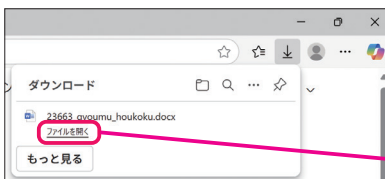
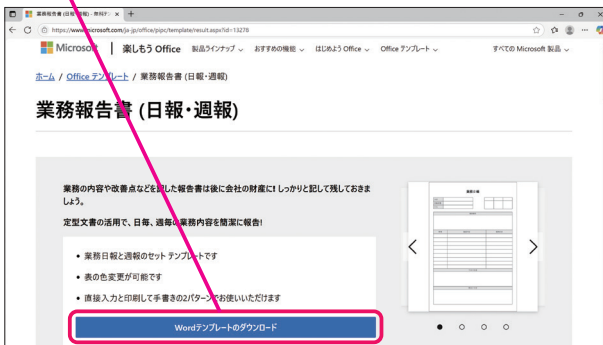
<https://www.microsoft.com/ja-jp/office/pipc>



2 使いたいテンプレートを選択

ここでは「業務報告書（日報・週報）」のテンプレートを使う

3 [Wordテンプレートのダウンロード] をクリック

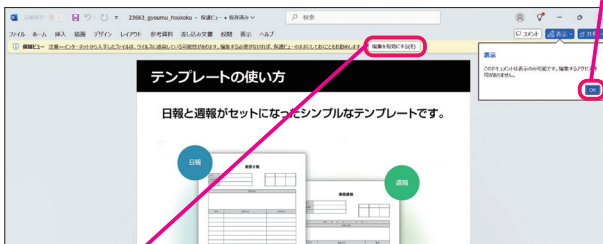


ファイルが [ダウンロード] フォルダにダウンロードされる

4 [ファイルを開く] をクリック

Wordが起動し、テンプレートが表示された

5 [OK] をクリック



6 [編集を有効にする] をクリック

## 👍 スキルアップ

### モダンなデザインが選べる Microsoft Create

ほかのデザインや内容のテンプレートも使ってみたいときは、Microsoft Createでも文書を探してみましょう。海外などで見かけるとようなモダンなデザインのテンプレートが豊富に登録されています。カスタマイズもできるので、好みのテンプレートが簡単に手に入ります。

### ▼Microsoft Create

<https://create.microsoft.com/ja-jp>



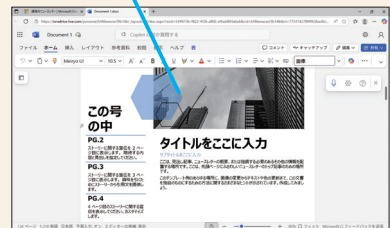
テンプレートを検索できる



モダンなデザインのテンプレートを選べる



Web版のOfficeアプリで、すぐにカスタマイズできる



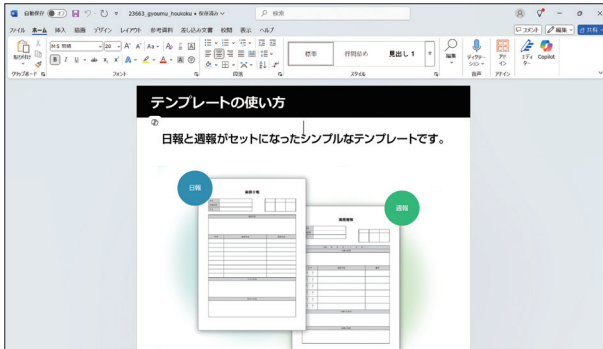
## テンプレートを使って文書を作ろう

テンプレートに文字を入力して文書を完成させましょう。自分で内容を入力するだけでなく、Copilotに手伝ってもらえば、頭の中の雑多な情報を読みやすい文章に仕上げられます。

テンプレートの使い方が表示される

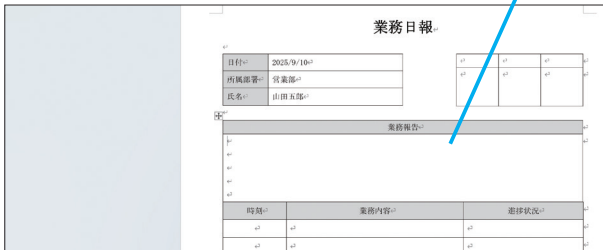
テンプレートの説明を確認しておく

1 画面を下にスクロール

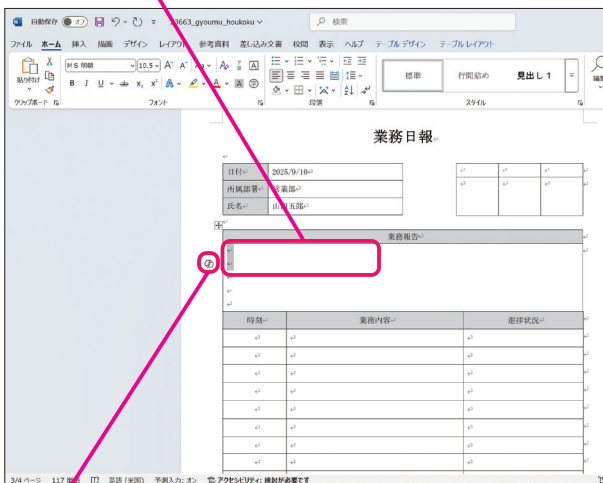


日付など簡単な部分は入力する

ここでは、「業務報告」欄の文章をCopilotで生成する



2 文章を挿入したい箇所をドラッグで選択



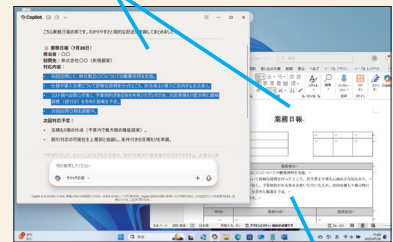
3 Copilotアイコンをクリック

## 使いこなしのヒント

### Office Home & Business 2024 の場合は

Office Home & Business 2024でも「楽しもうOffice」のテンプレートを利用可能です。ただし、このレッスンで紹介しているWordのCopilotは利用できないので、Windows 11のCopilotアプリで内容を生じてから、それを貼り付けるという方法で文書を仕上げましょう。

[Copilot] と [Office]、2つのアプリを切り替えながら作業する



[Copilot] アプリで文章を生成し、その結果をテンプレートに貼り付ける

### ⌚ 時短ワザ

Alt + i キーで Copilotを呼び出せる

Wordでは、使いたい場所で[Alt] + i キーを押すとCopilotを呼び出せます。素早く操作したいときだけでなく、Copilotアイコンが表示されない場合にも試してみましょう。



## ■著者

清水理史（しみず まさし） mshimizu@shimiz.org

1971年東京都出身のフリーライター。雑誌やWeb媒体を中心にOSやネットワーク、ブロードバンド関連の記事を数多く執筆。「INTERNET Watch」(<https://internet.watch.impress.co.jp/>)にて「イニシャルB」を連載中。主な著書に『できるWindows 11』『できるWindows 11 パーフェクトブック 困った! &便利ワザ大全』『できるCopilot in Windows』『自分専用AIを作ろう! カスタムChatGPT活用入門』『できるUiPath StudioX はじめての業務RPA』『できるはんこレス入門 PDFと電子署名の基本が身に付く本』『できるChatGPT』などがある。

「できる Microsoft 365 Personal (24か月) 搭載パソコン」(以下、本書)は、日本マイクロソフト株式会社から株式会社インプレスが委託を受けて制作した特別版です。本書は無償で提供されるものであり、本書の使用または使用不能により生じたお客様の損害に対して、著者、日本マイクロソフト株式会社ならびに株式会社インプレスは一切の責任を負いかねます。また、本書に関するお問い合わせはお受けしていません。あらかじめご了承ください。

# できる マイクロソフト サンロクゴ パーソナル Microsoft 365 Personal (24 げつ とうさい か月) 搭載パソコン

編集 ————— できるシリーズ編集部  
執筆 ————— 清水理史  
シリーズロゴデザイン — 山岡デザイン事務所  
カバーデザイン————— 伊藤忠インタラクティブ株式会社  
本文イメージイラスト — 原田 香  
DTP制作 ————— 株式会社トップスタジオ

2025年9月 初版発行  
2026年6月 第六版発行

発行 株式会社インプレス  
〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町一丁目105番地

Copyright © 2026 Masashi Simizu. and Impress Corporation.  
All rights reserved.

本書の内容はすべて、著作権法によって保護されています。著者および発行者の許可を得ず、転載、複写、複製等の利用はできません。

「できるサポート」では、本書に関するお問い合わせにはお答えしていません。あらかじめご了承ください。



**できる** Microsoft 365 Personal(24か月)搭載パソコン

非売品



株式会社インプレス